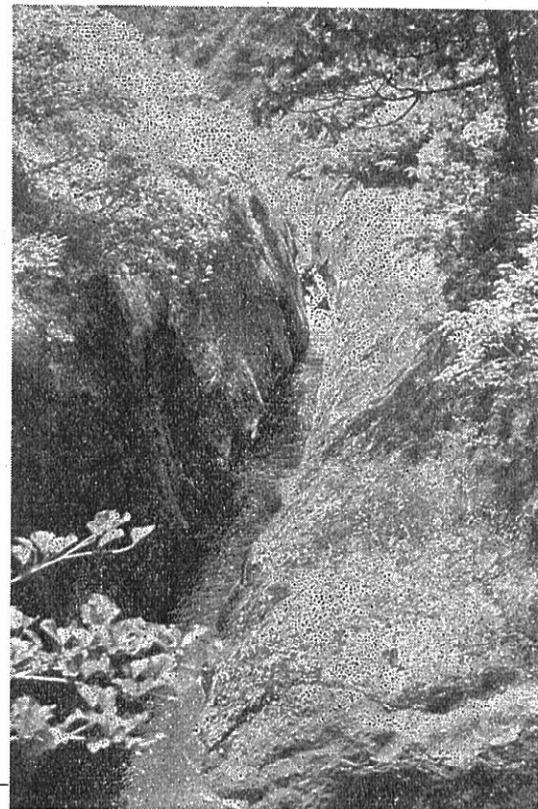


東北の秘境 小又奇峠!

大小80余の滝とおう穴
珍奇な岩脈の節理

秋田県名勝
天然記念物

に指定される



化の堰(ばけのせき)

一直線に120米、幅2米、ここから先
は人は一寸渡れないところである。

近時少年非行が増加の一途をたどり、しかも悪質化しているので、これが健全育成のため警察においては県内一八地区を「少年保護育成地区」に指定し、少年補導に努めていますが、今年度、本町委員として左記の方が、四月一日附で委嘱されました。

なお四月二十三日、米内沢公民館で委員会を開催、事業計画など審議し、また「少年健全育成の宣言決議」をあげ、少年非行防止に万全を期すことにしました。

年度、本町委員として左記の方が、四月一日附で委嘱されました。

近時少年非行が増加の一途をたどり、しかも悪質化しているので、これが健全育成のため警察においては県内一八地区を「少年保護育成地区」に指定し、少年補導に努めていますが、今年度、本町委員として左記の方が、四月一日附で委嘱されました。

毎月1回発行
発行と編集
秋田県森吉町役場
企画室
TEL(米内沢)44番

県警本部長から委嘱

少年保護育成委員一七名

良之助、佐藤富郎、金与忠
門、片岡喜右エ門、松田光
朗、北林雪子、森沢朝子、
庄司冬能、平川利隆、木崎
和広、清水昌一、武石広、
齊藤寅太郎、川口伊一郎、
以上

行政上の困りごとは

木村泰二郎氏へどうぞ



木村泰二郎氏は秋田行政監察局から「行政相談委員」に委嘱されて國、県、公社などに対する行政上の苦情、意見、要望を取り次ぎ、行政の民主化に活躍されています。

同氏が昨年一年間に受け付けした件数は

▽運輸関係三件▽国鉄二

件▽専売公社二件▽恩給請

求二件▽補助金二件▽司法法

一件▽郵政一件▽バス運行

一件、計十四件となつてお

り、今年になってからも四

件受けつけ、報告していま

すが、現在連絡中のものは

①都市計画、川向一駅前間

の道路中央に残された電

話用電柱の撤去方につい

て(米内沢地区交通安全

協会長、桜井正七氏)

このことについては五

月十八日より着工する旨

に連絡ありました。

②二級国道中、米内沢駅前

下坂下間の道路舗装実

施方について(代表、佐

藤仁一郎氏より)

結核を追放しましよう

次の日程で健康診断を実施しますから、

1人残らず診断を受けてください。

健康診断の日程 (7月分は次号掲載)

| 月 日 | 時 間 | 場 所 | 実 施 部 落 |
|-------|-------------|-------|-------------|
| 5月19日 | 9.30~10.30 | 農大町 | 新丁 |
| | 11.00~1.00 | 旧バス | 大町 |
| 5月20日 | 1.30~3.30 | 秋元会 | 本丁、横町 |
| | 9.30~12.00 | 商店 | 荒町、町屋 |
| 5月21日 | 1.30~3.30 | 農本城 | 本城上、下 |
| | 9.30~12.00 | 部落中心地 | 向本城 |
| 5月22日 | 1.00~3.30 | 鶴田 | 鶴田 |
| | 9.30~12.00 | 小学校 | 学校通 |
| 6月 8日 | 1.00~3.30 | 御嶽 | 上御嶽 |
| | 9.30~12.00 | 小屋 | 根小屋、白坂 |
| 6月 8日 | 10.00~12.00 | 内部落 | 惣内、上羽立、下羽立 |
| | 1.00~3.00 | 神成 | 神成 |
| 6月 9日 | 9.30~1.30 | 高田 | 新町 |
| | 2.00~3.30 | 東北製薬 | 東北製薬 |
| 6月10日 | 9.30~3.30 | 杉 | 大杉、裏町、長下、 |
| | 10.00~3.00 | 商店 | 五味堀 |
| 6月12日 | 10.00~3.00 | 五味堀 | 小又、冷水、駅前 |
| | 10.00~3.00 | 集会所 | 工場地帯、下前田 |
| 6月15日 | 10.00~3.00 | 小又 | 滝の沢、卷の上、八幡森 |
| | 10.00~3.00 | 集会所 | 通り町、桂坂、鍛冶町 |
| 6月17日 | 10.00~3.00 | 阿仁 | 阿仁 |
| | 前田 | 前田 | 前田 |

選挙の公明について

本勝治

鈴

木勝治

鈴

小畠知事来町

「健康な稲作り」を激励す

五月二日、健康な稲作を受け、また近藤町長は、当りの視察に来町した小畠知事は、役場会議室で秋元農業改良普及所長から、保護苗代の普及状況、奨励品種の作付見込などの報告を他につき陳情しました。

席上、知事のあいさつ次とのおり(要旨)、「昭和三十八年産米は全県で八十五億円の減収であった。かりに供米代金が一割減収すれば他の農業部門へ收入を上まわる損害となるので、農業構造改善も大事だが先づ稻作りの安定を確立しなければならない。昨年度、鹿角郡がひとり增收であったが、保護苗代の普及徹底によるもので、九月、一バーセントまで畑代、保温折衷苗代となつてゐる。

稻の品種統一についても早急に更新をはかり、県の獎励五品種(ヨネシロ、ウゴニシキ、サワニシキ、ハツニシキ、ミヨシ)が全県七割以上の作付面積となるよう推進する。これらの品



写真

役場で挨拶する知事

種を「秋田ニシキ」と名づけ、秋田米の銘柄を消費地に確保するため東京で試食会を開催するなど宣伝に努めている。

また、農業近代化ゼミナールを全県に開設し、農村青年の質的向上をはかりたい。苗づくり稻作りと合わせて人造りも推進する」と述べました。

知事一行は、本城地区の苗代状況を視察後、新丁協力を懇請しました。



農業近代化ゼミナール開設

最近の農業事情は全国的にいろいろの問題をかかえているが、特に青年層が農業をきらって所得の多い都

会に走るためいわゆる「三

年生」が生れるに至った。

本年度から全県一齊に開設される「農業近代化ゼミナール」は、農家の青年男女が新らしい技術と経営を

学びとり、希望をもって仲間

受講を歓迎。特に十八才以上三十才未満の青年層

は多数参加してください

るようお願いします。

②実施場所 町公民館

③受講対象 農家の大人であ

れば年令、男女を問わず

るようお願いします。

手をぬくな

稻も我が子も

同じこと

農業近代化の推進とあわせて米作の安定を確立する

ことが急務といわれる所以

があると言わなければなりません。

す影響は極めて大きなものがあると言わなければなりません。

農業近代化の推進とあわせて米作の安定を確立する

ことが急務といわれる所以

があると言わなければなり

ません。

農業近代化の推進とあわせて米作の安定を確立する

ことが急務といわれる所以</